

第1回検証委員会での意見を受け、「**現庁舎の利用を続け、将来建替える**」場合の複数案について
防災面やコスト、施工性等を整理した上で、「**今建替える**」場合と比較検証を行う

		現庁舎の利用を続け、将来建替える				今建替える
		現庁舎の耐震化等を行う		現庁舎の耐震化等を行わない		
必要となる工事		パターン① 耐震改修案	パターン② 減築案	パターン③ 災対本部整備案 (一部整備案)	パターン④ 継続案 (耐震化しない案)	パターン⑤ 新庁舎整備案 (現案・合築案)
		現庁舎の耐震改修を行い利用を続ける案	現庁舎を減築して利用を続け、減築分の執務室を別に確保する案	災害対策本部の機能のみ整備し、その他の部署は現庁舎の利用を続ける案	現状のまま現庁舎を利用する案	新庁舎を新たに整備する案(現案、合築案)
機能・規模を 確保するために 必要な工事	現庁舎の 耐震化等	杭の耐震化	杭の耐震化	—	—	—
		建物の耐震化	建物の減築			
		新たな 整備等	—	整備又は賃貸 (減築面積分)	一部整備 (災対本部のみ)	—
現庁舎を使い続ける際に 必要となる工事		現庁舎の耐震化等を行った場合も現庁舎を使い続けるためには大規模改修が必要。 また、築44年を経過しており、将来的には現庁舎の建替えが必要になる。				— (現庁舎は使用しない)
		設備改修	設備改修	設備改修	設備改修	
		将来建替え	将来建替え	将来建替え	将来建替え	

第1回検証委員会で整理した「検証項目」について、必要な整理事項を具体化する。

検証項目

- 1 「今建替える場合」と「耐震改修などを行い現庁舎の利用を続け、将来建て替える場合」について防災面・財政面から検証する
- 2 本市の建設業界の動向を踏まえ、新築工事の工事単価の妥当性等について検証する
- 3 敷地条件や跡地活用への影響を踏まえ、現庁舎の想定される解体範囲等について検証する
- 4 庁舎整備事業費が市財政に及ぼす影響について持続可能な財政運営やライフサイクルコストの観点から検証する
- 5 設計や工事段階も含め、工事費抑制につながる可能性がある整備手法について検証する

			現庁舎の利用を続け、将来建替える				今建替える	
			現庁舎の耐震化等を行う		現庁舎の耐震化等は行わない			
関連する 検証項目	整理事項		パターン① 耐震改修案	パターン② 減築案	パターン③ 災対本部整備案 (一部整備案)	パターン④ 継続案 (耐震化しない案)	パターン⑤ 新庁舎整備案 (現案・合築案)	
1	災害リスクへの対応		地震、水害リスクへの対応力の整理					
1・2	事業費	新築工事費等	—	—	単価の整理	—	単価の整理	
1		改修工事費等	改修費等の整理					—
1・3		現庁舎 解体工事費等	解体範囲の整理					
1・5	財政	ライフサイクル コスト	維持管理費、水光熱費等の整理					
1・4・5		市財政への影響	複数の条件設定を行った上で、市財政への影響を整理					